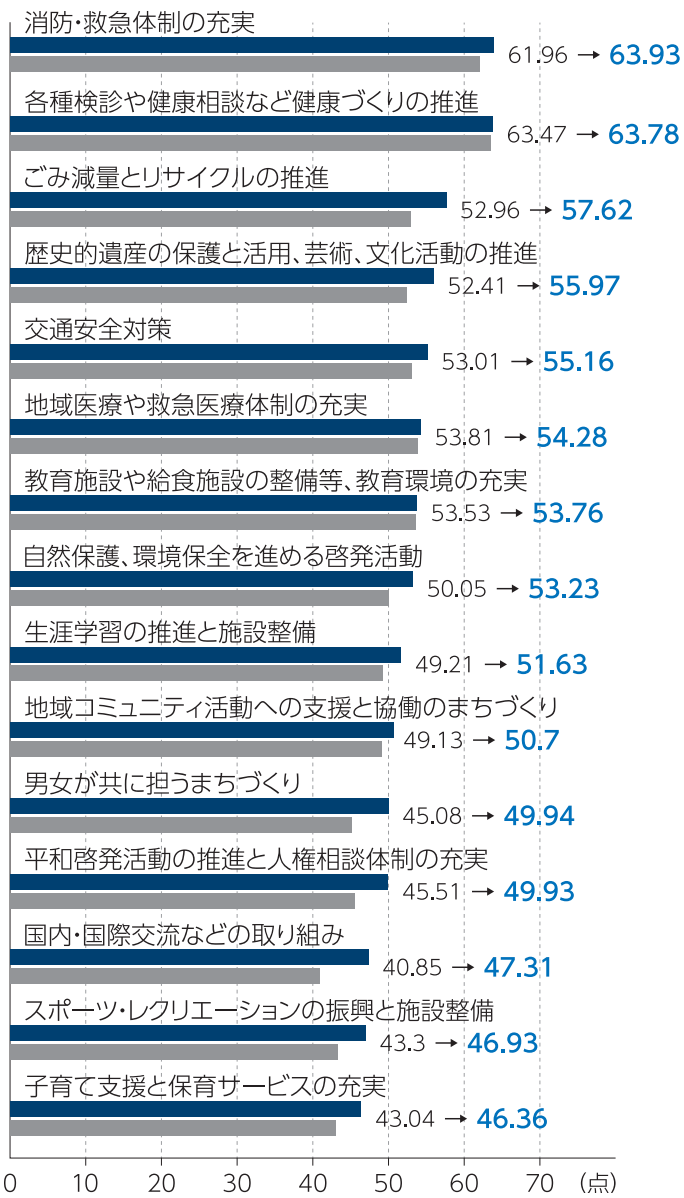


大崎市に対する総合的な満足度について評価してください

▶「満足」「やや満足」と回答した人は48.5%、「不満」「やや不満」と回答した人は39.9%となりました。

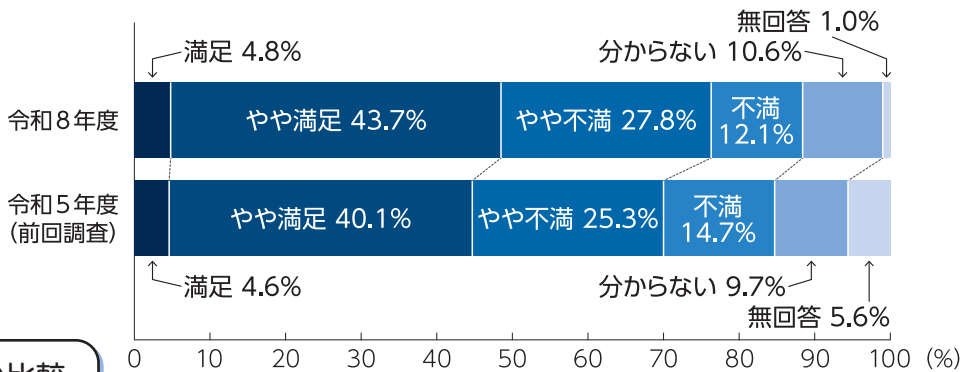
施策に対する市民満足度の比較

各施策に対する回答を、満足度(満足100点、やや満足75点、やや不満25点、不満0点)として点数化し、平均値を算出しました。最も満足度が高い分野は、「消防・救急体制の充実」の63.93点でした。次いで「各種検診や健康相談など健康づくりの推進」が63.78点となりました。



本調査結果のポイント

- ▶ 30施策中28施策が、前回の調査より点数が上がった結果になりました。
- ▶ 市民満足度の低い産業・商工業や公共交通の分野は、人口減少対策とも密接に関わる分野です。第3次大崎市総合計画では、創業・新事業の支援や若者・女性の就業支援、公共交通の利便性向上を重点戦略(人口減少対策)として位置付ける方向で検討しています。



大崎市総合計画 市民意識調査の結果報告

～より良い大崎市をつくるために～

問 政策課政策企画担当 ☎23-2129

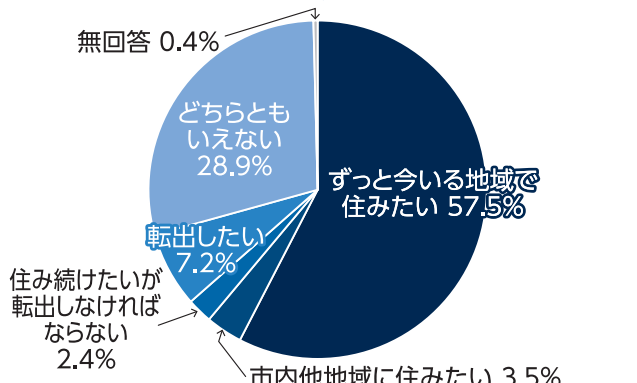
令和8年3月、住民基本台帳から無作為に抽出した市民3,000人を対象に市民意識調査を実施しました。調査結果の一部を紹介します。
※各グラフの構成比は四捨五入のため、合計が合わない場合があります。

市では、総合計画に掲げる将来像「宝の都(くに)・大崎～ずっとおおさき・いつかはおおさき～」の実現に向け、まちづくりを進めています。
市民意識調査は、皆さんの市政に対する意見や、今後のまちづくりで重視すべき点を把握することを目的としています。
本調査では、これまで継続してきた「住みやすさ」や「総合的な満足度」に加え、市の取り組みに対する認知度や市への愛着、幸福度といった新たな視点を取り入れ、市民意識を多角的に把握しました。
皆さんの意見は、今後の市政運営や現在策定を進めている第3次大崎市総合計画に反映するために活用していきます。
詳しくは、市ウェブサイトを確認してください。



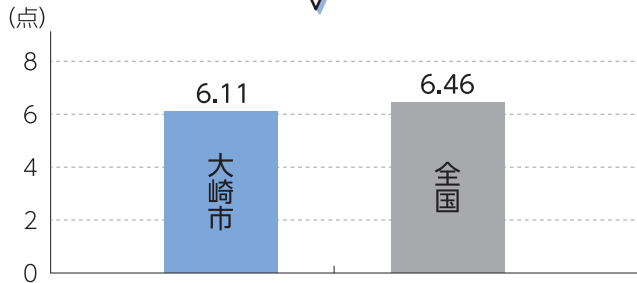
調査の概要	
調査期間	3月10日～4月3日
調査対象	満15歳以上の市民3,000人
調査方法	郵送で調査票の配布を行い、郵送またはウェブサイトで回答を回収
回収結果	調査票配布数3,000件のうち有効回収数1,762件(58.7%)

大崎市に今後も住み続けたいと思いますか？



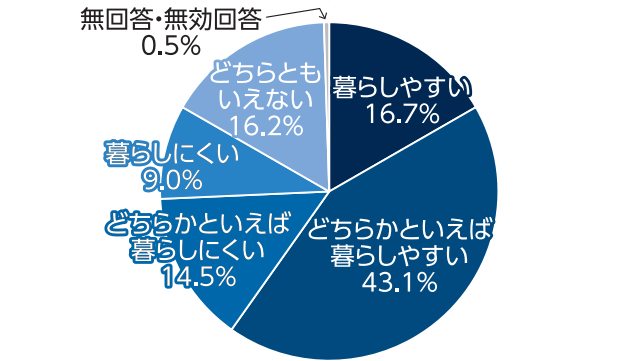
▶「ずっと今いる地域で住みたい」と回答した人は、57.5%と最も多く、地域への定着意向の高さが見られました。一方で、「転出したい」「住み続けたいが転出しなければならない」と回答した人が9.6%と、今後のまちづくりにおいて重要な視点となります。

あなたの幸福度はどうですか？



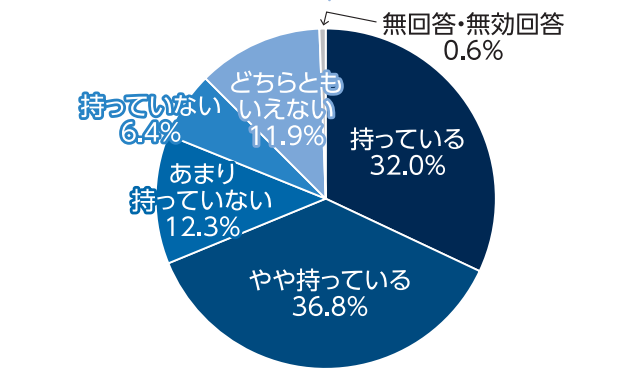
▶ 幸福度は平均6.11点と、全国平均の6.46点(※)を下回る結果となりました。人口減少の中における地域の持続可能性や、「選ばれる大崎市」を示す重要な指標です。
※出典:デジタル庁「地域幸福度(Well-Being)指標」ダッシュボード(令和5～7年度全国調査・3か年平均)

大崎市の暮らしやすさはどうですか？



▶「暮らしやすい」「どちらかといえば暮らしやすい」と回答した人は、59.8%と半数を超える結果となりました。

大崎市に対しての愛着についてどう感じていますか？



▶「持っている」「やや持っている」と答えた人が68.8%と、多くの市民が地域に親しみを感じている結果となりました。